



株式会社 **サンロジスティックス**

<https://sunlogi.co.jp>

社団法人日本ロジスティクスシステム協会 会員
〒359-1123 埼玉県所沢市日吉町18-1 ARAI-181ビル
TEL.04-2903-7600 FAX.04-2903-7900



おいしさと品質を運び
未来につなぐ

サンロジスティックスは
「知恵」と「知識」によって変化に挑戦し
新しい価値と新しい需要を創造します。



20℃帯を維持して運ぶ定温物流のパイオニア



株式会社 **サンロジスティックス**

おいしさと品質を運び未来につなぐ 共同配送が支える、笑顔あふれる食卓

サンロジスティックスは、多数の食品メーカーやスーパーからの信頼を背景に、共同配送による革新的な物流ソリューションを提供しています。当社の特長は、20℃帯の定温管理を徹底し、パンやお米などみんなが食べるものを、品質と美味しさを最適な状態で維持すること。この取り組みにより、排気ガス削減や騒音問題の解消・荷受け時間の短縮なども実現しています。この最適化された持続可能な共同配送モデルは、食の安全と安心を保証し、社会インフラとしての役割を果たしています。サンロジスティックスは、決められた時間に欠品なく美味しい状態で届けることで、毎日の食卓に幸せと満足をお届けします。

MESSAGE

ごあいさつ

当社は2003年、山崎製パンを中核とするヤマザキグループの一員として設立されました。メーカーと食品スーパーの枠を超えた独自の共同配送事業を構築し、20℃温度帯を維持した高品質な物流サービスを提供してきました。現在、福島から熊本まで全国17拠点のネットワークを整備しています。

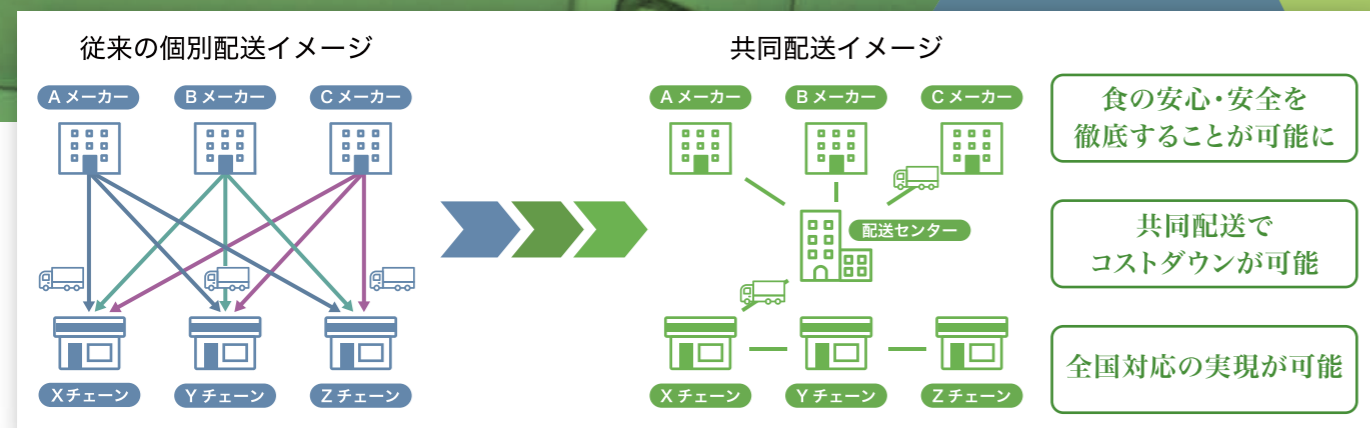
ドライバー不足など物流業界が大きな変革期を迎える中、DXによる業務効率化と従業員一人ひとりの改善提案を推進。働きがいのある職場づくりにも力を入れ、安定した物流品質の維持につなげています。

今後も安全・品質を最優先に、培ってきた知恵と経験を活かしながら新たな価値を創造し、社会に貢献し続けてまいります。



代表取締役社長
吉田 修平

当社の共同配送活用メリット



株式会社 **サンロジスティックス**

サンロジスティックスのマークは、青空の青と大地の緑を配置することで、環境に優しい会社ということを表しています。

サンロジスティックスの3つの強み

ヤマザキグループの一員でありながら、パンや総菜パンにとどまらず米や和菓子まで幅広く対応。20℃対応の共同配送を全国展開し、独自のシステム活用と現場力を融合させた運営と、協力会社との連携により、物流コスト削減と食の安定供給を実現しています。

1 パンの共同配送のパイオニア



パン・総菜パンをはじめとして数多くの食品メーカー様の委託を受け、大手スーパーを中心に共同配送を展開しております。共同配送により複数メーカー様の荷物を効率的に集約・配送することで、物流コスト削減と環境負荷の軽減に大きく貢献しています。

2 全国ネット × 20℃帯で支える食品流通



20℃帯を維持する配送インフラにより、温度管理が求められる食品流通を安定的に支えています。全国に展開する物流センター網と協力会社との強固な連携により、地域特性に応じた柔軟な対応と安定供給を実現。災害やパンデミックといった非常時にも、食のライフラインとしての使命を果たしてきました。

3 「人」と「仕組み」で創る、高品質な物流サービス



当社は「安全・品質・人材」を軸に、システムと現場力を融合させた物流運営で、サービス品質の向上に取り組んでいます。動態管理や温度管理などのシステムを活用した精度の高い配送と品質維持、従業員と協力会社が一体となった改善活動や人材育成などの取り組みの積み重ねが、お客様からの厚い信頼へとつながっています。

共同配送の現在までの歩み

2026年2月時点

メーカー139社、納品先2,414店舗まで拡大

現在の主な商品群

※は20℃定温管理

※は10℃定温管理



配送拠点が関西・西日本に拡大



バナナ・キウイ・弁当・惣菜がラインナップに加わる



2003年 共同配送事業開始

メーカー様や食品スーパー量販店様からのご要望により共同配送を開始。当時はパンが中心で、米と和菓子も扱うようになっていった。



お客様に最高の品質と安心を届けるために

当社の使命は、お客様からお預かりした商品を「定時・定量・定温」という三つの厳格な基準で、安全に高品質な状態でお届けすることにあります。この高いクオリティーの維持は、常に最優先事項です。しかし、変化の激しいビジネス環境でこの水準を持続するためには、単に商品を安全に届けるだけでは不十分です。そのため、当社は**すべての安全と品質の向上**に徹底し、**人材の確保と育成**を通じて組織全体の充実を図り、**「明るく、楽しく、働きがいのある職場」**をスローガンに掲げ、従業員同士の連携や能力を高めています。こうした取り組みにより、持続可能な成長を実現し、常にお客様の期待を超える努力を続けています。

車両事故防止と安全運転の推進

安全

- 4大遵守事項の徹底
 - ①呼称運転
 - ②カラーコーン設置
 - ③駐車時のギア入れ
 - ④駐車時の輪止め設置
- ドライブレコーダーを活用した同席確認による安全指導の実施

動力機器作業の安全確保対策



- 危険箇所への注意表示
- 安全カバーや自動停止センサーによる巻き込まれ防止対策
- 安全装置付きの機器導入推進（フォークリフト等）

安全な職場環境づくりの推進



- 4つの重点項目の徹底
 - ①安全に歩ける通路確保
 - ②定位置管理（決められた場所に決められた物を）
 - ③動力機器の手順遵守（トラブル時は機械を停止）
 - ④高所作業対策（10cmでも高所と捉える）

災害時の安全確保と事業継続への取り組み



- あらゆる災害を想定し、定期・抜き打ち訓練を実施。非常時に即行動できる体制を構築
- 非常用発電機を導入し、BCP（事業継続計画）を強化

動態管理システムによる配送品質と納品精度の向上

品質

- 店舗様からのお問合せに迅速に対応
- 道路状況の変化を即時把握し、最適な迂回ルートを示す
- 後方映像記録を基に荷降ろし作業を確認・指導

温度管理による適温配送と品質保持の徹底



- 商品に応じた適温管理（20°C、10°C）
※バナナは20°C管理で低温障害を回避
- 温度の自動記録とチェック（庫内、配送車両荷室）

迅速・正確・衛生的な配分体制



- デジタルコンベア式の配分機導入による身体的負担軽減
- 物量や庫内環境に合わせた配分機導入（多段式・天吊式）
※改善提案制度を基にした機器開発、導入推進

食品の品質を守る施設・設備の維持管理



- AIB基準に準拠した管理体制のもと、自主監査と本監査を実施
- 清掃や有害生物対策など施設の維持管理を徹底
- 作業ルールとマナーの周知、従業員教育を通じた衛生意識の向上

研修・会議による業務理解と成長支援

人材

- 入社研修（新卒・中途）
- 職種変更時研修
- 役職ごとの研修
- 事務担当者研修
- 海外研修
- 安全品質指導員会議
- 安全衛生指導員会議

ジョブローテで広げる視野と成長機会



- センター内で庫内・配送の両業務を経験し、業務理解を深化
- 本社とセンターの相互異動で、多角的な視点と成長機会を創出

改善提案と表彰による意欲と成長の促進



- 各センターの従業員やチームから改善提案を募集。一定期間ごとに審査を行い、優秀提案を表彰
- 日常業務を見直す機会となり、従業員が主体的に学び成長する

職種別のコンクール実施による個人と会社の成長加速



- 安全品質向上コンクール（配送業務の優秀ドライバーを競う）
- 庫内コンクール（庫内業務の安全・品質・衛生・防災の知識と活動を競う）
※両コンクールとも自社、協力会社が対象



株式会社 サンロジスティックス

品質・安全・信頼を、チームでつくる。

サンロジスティックスは、全国の配送センターで共同配送を支えています。

一人ひとりの気づきや工夫が、安心して確かな物流品質を生み出しています。

「知恵」と「知識」によって変化に挑戦し、 「新しい価値」と「新しい需要」を創造する

社員の知識と知恵を活かすことで、時代の変化に柔軟に適應して新たな価値を生み出し、
まだ顕在化していないニーズを捉え、新しい可能性を切り拓いていきます。



会社概要

商号	株式会社サンロジスティックス	役員	代表取締役社長 吉田 修平 常務取締役 河津 辰彦 取締役 田中 里司 取締役 高橋 功 取締役 早川 立 取締役 今子 和男 取締役 川北 真樹 監査役 山崎 知幸 監査役 石川 智之
設立	2003年2月4日		
本社	〒359-1123 埼玉県所沢市日吉町 18-1 ARAI-181 ビル		
資本金	3億8000万円(別途資本準備金1億円)		
従業員数	643名(2026年3月31日現在)		
主な事業内容	食品(パン・和洋菓子・惣菜・米など)の仕分業務及び店舗配送業務		

沿革

2003年 2月 4日	資本金2億8,000万円で株式会社サンロジスティックスを設立 (山崎製パン株式会社50%、株式会社ヤマザキ物流50%)
2003年 4月 1日	従業員170名をもって次の6センターで営業を開始 東京配送センター(東京都葛飾区)、むさしの配送センター(埼玉県三芳町) 横浜配送センター(神奈川県横浜市)、北関東配送センター(茨城県古河市) 名古屋配送センター(愛知県名古屋市)、郡山配送センター(福島県大玉村)
2003年 5月29日	関西の拠点として、大阪配送センター(大阪府摂津市)新設
2003年 9月24日	関東の配送ネットワーク拡充のため、千葉配送センター(千葉県船橋市)新設
2003年 10月31日	関西の第2拠点として、阪南配送センター(大阪府柏原市)新設
2004年 3月 4日	関西の配送ネットワーク拡充のため、滋賀配送センター(滋賀県甲西町・現 湖南市)新設
2004年 9月 1日	中国地方初の広島配送センター(広島県坂町)新設・山口デポ稼働
2004年 10月13日	中国地方2番目の岡山配送センター(岡山県倉敷市)新設
2004年 10月25日	業容拡大のため、名古屋配送センター(愛知県師勝町・現 北名古屋市)移転
2005年 2月21日	北陸デポ(福井市)稼働
2005年 3月31日	九州初の鳥栖配送センター(佐賀県東脊振村・現 吉野ヶ里町)新設
2005年 10月15日	業容拡大のため、大阪配送センター(大阪府摂津市)移転
2005年 11月 3日	業容拡大のため、鳥栖配送センター(佐賀県基山町)移転
2006年 5月 1日	業容拡大により米専用センターとなる、埼玉米センター(埼玉県三芳町)新設 業容拡大のため、横浜配送センター(神奈川県綾瀬市)移転
2007年 2月 1日	業容拡大のため、埼玉配送センター(埼玉県杉戸町)及び、神奈川配送センター(神奈川県愛川町)新設
2007年 5月16日	業容拡大のため、千葉配送センター(千葉県印西市)移転
2007年 6月19日	資本金を3億8,000万円(別途資本準備金1億円)に増資
2008年 3月17日	業容拡大のため、本社移転(埼玉県所沢市日吉町)
2011年 4月18日	業容拡大のため、名古屋配送センター(愛知県北名古屋市)移転
2012年 7月 2日	業容拡大のため、埼玉米センターを、川越配送センターに改め、埼玉県川越市に移転
2014年 4月16日	熊本デポ(菊池郡菊陽町)稼働
2016年 4月 5日	業容拡大のため、横浜配送センターを神奈川配送センターに統合
2025年 7月18日	業容拡大のため、鳥栖配送センター増床

共同配送を支える拠点ネットワーク

東日本

● 本社

〒359-1123 埼玉県所沢市日吉町18-1 ARAI-181ビル
TEL : 04-2903-7600

● むさしの配送センター

〒354-0045 埼玉県入間郡三芳町上富1446-1
TEL : 049-274-5550

● 神奈川配送センター

〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津字桜台4026-1
TEL : 046-284-5110

● 郡山配送センター

〒969-1301 福島県安達郡大玉村大山字仲江320
TEL : 0243-68-2058

● 東京配送センター

〒124-0001 東京都葛飾区小菅2-1-1
TEL : 03-5680-5446

● 埼玉配送センター

〒345-0012 埼玉県北葛飾郡杉戸町大字深輪391-8
TEL : 0480-36-5240

● 千葉配送センター

〒270-1338 千葉県印西市松崎台2-6-1
TEL : 0476-48-5981

● 川越配送センター

〒350-1151 埼玉県川越市今福986-1
TEL : 049-249-1261

西日本

● 大阪配送センター

〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2-2-63
TEL : 072-650-3065

● 滋賀配送センター

〒520-3212 滋賀県湖南市小砂町4-3
TEL : 0748-75-8265

● 名古屋配送センター

〒481-0001 愛知県北名古屋市六ツ師女夫越5
TEL : 0568-26-2650

● 広島配送センター

〒731-4311 広島県安芸郡坂町北新地1-4-31
株式会社ティューロジネット内
TEL : 082-820-1955

● 鳥栖配送センター

〒841-0202 佐賀県三養基郡基山町大字長野字
上川原946-7
TEL : 0942-81-7880

● 阪南配送センター

〒582-0023 大阪府柏原市国分東条町4313
TEL : 072-975-1251

● 北陸デポ

〒919-0321 福井県福井市下河北町19-1
TEL : 0776-38-9035

● 岡山配送センター

〒701-0112 岡山県倉敷市下庄808-1
シモハナ物流株式会社内
TEL : 086-464-4055

● 山口デポ

〒754-0894 山口県山口市大字佐山字南岩並131-1
シモハナ物流株式会社内
TEL : 083-988-0487

● 熊本デポ

〒869-1102 熊本県菊池郡菊陽町原水1157-6
TEL : 096-292-3535



各拠点外観



本社



川越配送センター



名古屋配送センター



千葉配送センター



郡山配送センター



岡山配送センター



埼玉配送センター



大阪配送センター



広島配送センター



神奈川配送センター



阪南配送センター



山口デポ



東京配送センター



滋賀配送センター



鳥栖配送センター



むさしの配送センター



北陸デポ



熊本デポ

ドライバーの安全と安心を守る、 先進装備搭載の配送車両



安全を支える主な装備



① テールゲートリフター

すべてのトラックに配備。パンやお菓子から精米や青果までさまざまな荷物をスムーズに積み下ろしできます。荷下ろしの負担を大幅に減らせるため、女性や力に自信のない方でも安心して作業できます。



② トラックソナー・センシングアイ

トラック後部には、超音波で後方の人や障害物を検知する「トラックソナー」と、AIで人とモノを識別してモニター表示する「センシングアイ」を標準装備。音やランプで知らせることで、バック時の事故を未然に防ぎます。



③ デジタルタコグラフ

速度・走行距離・運転時間などの運転操作を正確に記録し、ドライバーの運行状況を「見える化」。さらにレポートを活用したドライバーへの安全運転指導や、走行時間・休憩時間のお知らせ機能で、無理のない運行をサポートします。



④ 側方衝突警報装置

トラック左側面には、レーダーで人や障害物を感知する側方衝突警報装置を搭載。ランプと音で知らせることで、巻き込みや車線変更時の危険を防ぎ、安全運転を支えています。

このほかにも、多彩な装備を搭載



荷室内の空調機



トラック荷室を照らすLEDランプ



エアサスペンション



車両動態管理システム